



2016 5.19 (木)



片口小学校 (5年生)  
田植え体験学習

# 第16回

# 通常総代会開催

## 12議案を 原案通り承認



▲議事進行を務める石黒勝久議長

### 組合長挨拶

開会に際し、水元組合長が総代各位に多忙の中の出席に礼を述べ、来賓各位には市合併10年の成果を讃えて、更なる活躍を願った。決算は、皆様のご協力により県下トップクラスの成績を確保できたと報告、今後とも皆様に信頼されるJAを目指して行くと決意を述べた。

60年ぶりに農協法が改正され、農業をめぐる情勢も米政策の見直しやTPPの大筋合意を踏まえ、良質・良食味米の生産を基軸に園芸にも積極的に取り組み、昨年は射水カントリーに全国初の屋外型遠赤外線乾燥機を導入し、食味評価特Aに加え1等米比率97.7%を堅持、単収では北陸3県でトップと品質・量ともに高い評価を受けたと報告した。今年度は小杉カントリーエレベータにサイロ冷却装置、「1億円産地づくり事業」枝豆・富山ブラックには選別調整設備の導入を計画し、



▲水元睦雄組合長

### 来賓祝辞

いみず野産農産物の更なる品質向上を目指し、組合員・利用者の一層のサービス向上に努めるとし、慎重審議を願い挨拶とした。



▲夏野元志射水市長



▲四方正治県議会議員

### 通常総代会付議議案

- 第1号議案 第16年度 事業報告及び剰余金処分承認の件
- 報告事項1 第16年度 貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書の件
- 第16年度 部門別損益計算書の件
- 報告事項2 JAバンク基本方針の変更の件
- 第2号議案 中期3カ年計画設定の件
- 第3号議案 第17年度 事業計画設定の件
- 第4号議案 第17年度における固定資産取得処分に関する件
- 第5号議案 定款及び定款附属書役員選任規程一部変更の件
- 第6号議案 規約一部変更の件
- 第7号議案 信用事業規程一部変更の件
- 第8号議案 第17年度における理事の報酬に関する件
- 第9号議案 第17年度における監事の報酬に関する件
- 第10号議案 役員全員任期満了につき改選の件
- 第11号議案 理事の退職慰労金贈呈の件
- 第12号議案 監事の退職慰労金贈呈の件
- 特別決議 元気な富山県農業の創造に関する特別決議

## 平成28年度 いみず野農協 新役員名簿

役職	氏名	区分
会長	夏野 元秀	浅井
代表理事組合長	水元 睦雄	大江
副組合長	小川 秀明	大島
副組合長・営農販売委員長	渋谷 忠雄	金山
専務理事	塚本 清	小杉
総務委員長	浦元 康夫	本江
金融共済委員長	島倉 文則	下村
購買委員長	源 春夫	大島
理事	稲垣 朝夫	二口
理事	土合 正夫	黒河
理事	臈嶋 茂夫	水戸田
理事	川東 茂幸	作道
理事	河岸 芳美	釧路
理事	尚和 清信	塚原
理事	森 俊治	戸破
理事	中井 敏男	作道
理事	笹木 憲治	片口
理事	高橋 賢治	櫛田
理事	西野 博信	太山・池
理事	片口 和美	海老江
理事	金森 光重	橋下条
理事	角谷 宗一	大門
理事	田中 美憲	七美
理事	犀藤 秋美	釧路
代表・常勤・員外	田邊 康弘	全区の
監事	牧野 久雄	櫛田
監事	朽木 寛	小杉
監事	川野 修	堀岡
監事	田所 義治	浅井
監事	清水 裕之	塚原
監事	坂本 浩二	太山・池

### 議長選出・議事・特別決議



▲津田信人市議会議長

石黒副組合長が議長選任を諮り、大島地区の総代 石黒勝久氏を選出、石黒議長の進行により、第16年度の事業報告・剰余金処分案や第17年度の事業計画、定款の一部変更、役員全員任期満了につき改選の件等、当局説明の12議案を慎重審議のうえ承認した。

### 任期満了による役員改選



▲坪田三夫青年部長

任期満了による役員選任投票が行われ、出席者の303票と書面議決の105票と合わせて408票の賛成があり、定款に定める2分の1以上に達したことににより全員の就任が承認された。



合長として就任した。また前常務理事の塚本清氏が専務理事に就任することが決定した。また、同時に開催された監事会で、員外監事である田邊康弘代表・常勤監事が留任することを決定した。

### 役員名簿

役職	氏名
会長	夏野 元秀
代表理事組合長	水元 睦雄
副組合長	小川 秀明
副組合長	渋谷 忠雄
専務理事	塚本 清
総務理事	浦元 康夫
金融共済理事	島倉 文則
購買理事	源 春夫
理事	稲垣 朝夫
理事	土合 正夫
理事	臈嶋 茂夫
理事	川東 茂幸
理事	河岸 芳美
理事	尚和 清信
理事	森 俊治
理事	中井 敏男
理事	笹木 憲治
理事	高橋 賢治
理事	西野 博信
理事	片口 和美
理事	金森 光重
理事	角谷 宗一
理事	田中 美憲
理事	犀藤 秋美
代表・常勤・員外	田邊 康弘
監事	牧野 久雄
監事	朽木 寛
監事	川野 修
監事	田所 義治
監事	清水 裕之
監事	坂本 浩二

## 第 16 年度 業務のご報告

### (4) 職員の状況

(単位：人)

区 分	前 期 末	当 期 増 加	当 期 減 少	前 期 末
一 般 職 員	170	7	18	159
営 農 指 導 員	10	4	-	14
生 活 指 導 員	3	-	-	3
工 場 関 係 職 員	10	1	-	11
<b>計</b>	<b>193</b>	<b>12</b>	<b>18</b>	<b>187</b>
常 備 人	66	9	7	68
パ ー ト	18	-	1	17
<b>計</b>	<b>84</b>	<b>9</b>	<b>8</b>	<b>85</b>
<b>合 計</b>	<b>277</b>	<b>21</b>	<b>26</b>	<b>272</b>

### (5) 財務・事業成績の推移

(単位：千円)

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
財 務	事 業 利 益	449,576	409,492	401,224	327,658
	経 常 利 益	496,814	470,399	461,120	387,407
	当 期 剰 余 金	315,368	341,889	252,861	308,681
	総 資 産	126,551,525	128,953,437	130,986,046	133,722,432
	純 資 産	7,399,340	7,806,916	8,038,848	8,352,347
信 用	貯 金	115,876,405	117,723,369	120,854,745	122,931,472
	預 金	78,291,762	80,765,063	85,246,045	88,609,687
	貸 出 金	30,460,788	30,608,217	29,320,253	28,052,346
	有 価 証 券	5,414,831	5,138,543	4,051,646	3,846,875
		国 債	3,615,285	3,638,845	2,251,928
そ の 他	1,799,546	1,499,697	1,799,718	1,699,770	
共 済	長期共済保有高	347,721,670	339,326,451	329,867,440	323,085,122
	短期共済新契約掛金	452,707	480,979	499,880	496,579
購 買	購 買 品 供 給 高	3,968,277	4,100,137	3,787,487	3,364,386
販 売	販 売 品 取 扱 高	3,076,405	2,774,760	2,440,308	2,648,413
農 業 倉 庫	農 業 倉 庫 事 業 収 益	51,646	47,538	45,196	43,412
利 用	利 用 事 業 収 益	503,578	491,883	483,577	474,644
そ の 他	そ の 他 事 業 収 益	23,488	18,946	17,517	17,423
指 導	収 支 差 額	(-) 39,320	(-) 17,178	(-) 29,664	(-) 37,666

### (1) 当該事業年度の末日における主要な事業活動の内容と成果

国内経済は、上半期の景気は足踏み状態に陥り停滞感の強い状況が続き、実質所得の目減りが発生し、増税後の消費持ち直しを阻害してきました。

農業面では、主力作物である水稻の作況指数は 103 で、単収 584kg となり県下で最高クラスの生産量となりました。品質的には生産者の適切な水管理等により 1 等比率が 97.7% となりました。総じて農産物価格は依然厳しい状況下にあるなか、米価についても低迷状況が続くと推察されます。

このような状況にあって、組合員をはじめ皆様方のご協力を受けながら役職員一丸となって事業運営に邁進してきました。結果、主要事業の貯金、共済、販売事業は計画達成しましたが、貸出金、購買事業は計画未達となりました。

また、金融機関の健全性を示すといわれています自己資本比率は、17.46%（新自己資本比率算定方法による）となり、当 J A の財務状況は健全であることを示しております。

### (2) 組合員の数及びその増減

(単位：人)

資 格 区 分	前 期 末	当 期 増 加	当 期 減 少	当 期 末		
正 組 合 員	個 人	5,495	134	179	5,450	
	法 人	農 事 組 合 法 人	31	5	-	36
		そ の 他 の 法 人	5	-	1	4
	<b>計</b>	<b>5,531</b>	<b>139</b>	<b>180</b>	<b>5,490</b>	
准 組 合 員	個 人	7,970	186	185	7,971	
	そ の 他 の 団 体	133	-	8	125	
	<b>計</b>	<b>8,103</b>	<b>186</b>	<b>193</b>	<b>8,096</b>	
<b>合 計</b>	<b>13,634</b>	<b>325</b>	<b>373</b>	<b>13,586</b>		

### (3) 出資口数の数及びその増減

(単位：口)

資 格 区 分	前 期 末	当 期 増 加	当 期 減 少	当 期 末		
正 組 合 員	個 人	1,205,606	44,950	33,911	1,216,645	
	法 人	農 事 組 合 法 人	3,017	150	-	3,167
		そ の 他 の 法 人	150	-	50	100
	<b>計</b>	<b>1,208,773</b>	<b>45,100</b>	<b>33,961</b>	<b>1,219,912</b>	
准 組 合 員	個 人	294,064	34,981	7,601	321,444	
	そ の 他 の 団 体	4,845	-	212	4,633	
<b>計</b>	<b>298,909</b>	<b>34,981</b>	<b>7,813</b>	<b>326,077</b>		
処 分 未 済 持 分	19,043	3,603	19,043	3,603		
<b>合 計</b>	<b>1,526,725</b>	<b>83,684</b>	<b>60,817</b>	<b>1,549,592</b>		
摘要：(1) 出資一口金額 1,000 円						
(2) 当期末払込済出資総額 1,549,592,000 円						

## (7) 損益計算書

〔平成27年3月1日から  
平成28年2月29日まで〕

(単位：千円)

科 目	金 額	金 額
1. 事業総利益		2,494,537
信用事業収益	1,239,295	
信用事業費用	354,488	
信用事業総利益		884,806
共済事業収益	591,163	
共済事業費用	42,188	
共済事業総利益		548,974
購買事業収益	3,548,446	
購買事業費用	2,917,214	
購買事業総利益		631,231
販売事業収益	170,908	
販売事業費用	28,497	
販売事業総利益		142,411
農業倉庫事業収益	43,412	
農業倉庫事業費用	1,856	
農業倉庫事業総利益		41,556
利用事業収益	474,644	
利用事業費用	208,377	
利用事業総利益		266,266
その他事業収益	17,423	
その他事業費用	466	
その他事業総利益		16,956
指導事業収入	29,211	
指導事業支出	66,877	
指導事業収支差額		(-) 37,666
2. 事業管理費		2,166,879
人件費	1,407,881	
業務費	187,700	
諸税負担金	66,716	
施設費	484,909	
その他事業管理費	19,670	
事業利益		327,658
3. 事業外収益		71,323
4. 事業外費用		11,573
経常利益		387,407
5. 特別利益		341,745
6. 特別損失		319,625
税引前当期利益		409,527
法人税・住民税及び事業税	85,995	
法人税等調整額	14,850	
法人税等合計		100,845
当期剰余金		308,681
当期首繰越剰余金		116,862
固定資産減損積立金取崩額		1,484
情報システム機能強化等積立金取崩額		18,937
税効果調整積立金取崩額		14,850
当期末処分剰余金		460,815

## (6) 貸借対照表

平成28年2月29日現在

## 資産の部

科 目	金 額
(資産の部)	
1. 信用事業資産	121,465,836
(1) 現金	596,815
(2) 預金	88,609,687
系統預金	88,609,471
系統外預金	216
(3) 有価証券	3,846,875
国債	2,147,104
地方債	1,699,770
(4) 貸出金	28,052,346
(5) その他の信用事業資産	631,709
未収収益	617,933
その他の資産	13,776
(6) 貸倒引当金	(-) 271,598
2. 共済事業資産	8,557
(1) 共済貸付金	4,990
(2) 共済未収利息	58
(3) その他の共済事業資産	3,525
(4) 貸倒引当金	(-) 17
3. 経済事業資産	1,298,333
(1) 受取手形	2,165
(2) 経済事業未収金	170,345
(3) 経済受託債権	644,718
(4) 棚卸資産	487,953
購買品	487,772
その他の棚卸資産	181
(5) その他の経済事業資産	5,812
(6) 貸倒引当金	(-) 12,662
4. 雑資産	251,784
(1) 雑資産	251,844
(2) 貸倒引当金	(-) 59
5. 固定資産	4,544,037
(1) 有形固定資産	4,526,784
建物	4,961,927
機械装置	1,954,851
土地	1,432,916
建設仮勘定	18,000
その他の有形固定資産	1,268,627
減価償却累計額	(-) 5,109,538
(2) 無形固定資産	17,252
6. 外部出資	6,011,862
(1) 外部出資	6,011,862
系統出資	5,871,718
系統外出資	140,144
7. 繰延税金資産	142,019
資産の部合計	133,722,432

## 負債及び純資産の部

(単位：千円)

科 目	金 額
(負債の部)	
1. 信用事業負債	123,699,803
(1) 貯金	122,931,472
(2) 借入金	800
(3) その他の信用事業負債	767,531
未払費用	352,462
その他の負債	415,068
2. 共済事業負債	678,228
(1) 共済借入金	4,990
(2) 共済資金	454,439
(3) 共済未払利息	58
(4) 未経過共済付加収入	204,768
(5) その他の共済事業負債	13,972
3. 経済事業負債	208,603
(1) 経済事業未払金	186,015
(2) 経済受託債務	22,586
(3) その他の経済事業負債	0
4. 雑負債	230,947
(1) 未払法人税等	80,500
(2) その他の負債	150,447
5. 諸引当金	552,501
(1) 賞与引当金	58,005
(2) 退職給付引当金	450,678
(3) 役員退職慰労引当金	43,817
負債の部合計	125,370,084
(純資産の部)	
1. 組合員資本	8,315,981
(1) 出資金	1,549,592
(2) 資本準備金	40,499
(3) 利益剰余金	6,729,493
利益準備金	1,819,350
その他利益剰余金	4,910,143
リスク管理積立金	1,280,000
固定資産減損積立金	19,604
固定資産除却損失積立金	67,034
情報システム機能強化等積立金	145,189
税効果調整積立金	155,883
農林年金対策積立金	81,820
特別積立金	2,699,796
当期未処分剰余金	460,815
(うち当期剰余金)	(308,681)
(4) 処分未済持分	(-) 3,603
2. 評価・換算差額等	36,366
(1) その他有価証券評価差額金	36,366
純資産の部合計	8,352,347
負債及び純資産の部合計	133,722,432

# 第17年度 事業計画の基本方針

日銀の更なる追加緩和による初のマイナス金利導入により、設備投資への資金需要を誘発させ円安定着などとの相乗効果を生み株価を上昇させ、今後の景気回復を後押しするとの金利政策が、海外先進国の景気の不透明さに押し戻され、安全な日本国債の保有等円高傾向が続くなか、JAの経営はますます厳しさが増し、取扱高の継続的な減少が資金収支の低下も招き、いよいよ難局の状況となっています。

一方、「JA改革」の名の元に全中機能を低下させる改正農協法がJAグループ全体の弱体化に追い打ちをかけ、政府のTPPへの執着が農業の大きな方向転換を早急に迫る厳しい状況に拍車をかけています。

このような情勢下、本年度は第六次中期3カ年計画の初年度として、前年度までの取組み状況の検証、課題・対応策の整理を踏まえ、「元気な地域農業の創造と自己改革を実践するJAいみず野」をテーマとし、

- ① 「農業者の所得増大」「地域の活性化」への挑戦
- ② 「農業者の所得増大」「地域の活性化」に向けた組織・事業・経営の革新
- ③ 協同組合理念の浸透と「食・農・協同組合」にかかる理解の醸成

の3つの目標の実現に向けて、農と食、地域社会の貢献に寄与することにより組合員・地域の皆様に選ばれ、自ら変革しながら成長できるJAの実現を目指します。

## 1. 地域農業の振興と主穀作物・園芸作物の複合経営の定着化

- (1) 「地域営農ビジョン」を踏まえた「地域農業振興計画書」の次期計画策定
- (2) 担い手経営体との連携強化の実践(TAC)
- (3) 消費者に喜ばれる「いみず野米」づくりと販売・流通ネットワークづくり
- (4) JA直売所等を通じた地産地消の推進と地域の消費者との交流場の再構築
- (5) 1億円産地づくり事業(枝豆、苺)の生産拡大と加工品の販路拡大
- (6) 「生産履歴記帳」と「とやまGAP規範」を遵守した食の安全確保と地元農産物の提供
- (7) 循環型農業のバイオマス研究対策の継続(もみ殻焼却灰肥料研究開発)

## 2. 暮らしに密着し貢献する事業活動の強化

- (1) JA女性部と連携した味噌・惣菜加工販売等6次産業化や販路拡大への支援
- (2) 健康管理活動と高齢者福祉活動(ミニディサービス事業)の積極的展開
- (3) JA女性部との連携による「JA地域暮らし戦略」の実践
- (4) 地域密着型の広報活動の展開

## 3. 経営基盤の強化と健全性の向上

- (1) 組合員加入促進方針の策定と実践
- (2) 経営の健全性の確保と自己資本の充実
- (3) 地域密着活動の取組み強化
  - ① 身近な支店を拠点とした地域とのつながりづくり
  - ② 年金相談・ローン相談の充実と提案型渉外活動の強化
- (4) 信頼される経営管理体制づくり
  - ① 法令等遵守(コンプライアンス)態勢の定着と内部管理態勢の充実
  - ② 人材育成と活力ある職場づくりの実践

## 理事の職務遂行に関する組合員からの情報提供窓口の設置について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法(第35条の5)および農協法施行規則(第81条)に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報(組合経営に関する事象に限る)の提供窓口を設置しております。

当組合の理事の組合経営に関する気になる行為について、見たり聞いたりした事柄がありましたら、封書または電話にて下記宛にご連絡くださいますようお願いいたします。

いみず野農業協同組合 監事会

### 【連絡先】

住所 〒939-0276 射水市北野1555-1  
 担当部署 監事会事務局  
 電話番号 0766-52-7680  
 受付監事 代表・常勤監事 田邊 康弘  
 お電話の場合は、月曜日～金曜日(祝祭日を除く)の午前9時～午後5時をお願いします。

※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。  
 ※当組合の業務に関する一般的な苦情については、下記の通り、別途窓口を設置しておりますので、そちらをご利用ください。

### 【一般苦情相談窓口】

住所 〒939-0276 射水市北野1555-1  
 担当部署 企画管理部 総務課  
 電話番号 0766-52-0023

## (8) 剰余金処分内訳(第16年度)

(単位:円)

1. 当期末処分剰余金		460,815,978
2. 任意積立金取崩額		86,638,125
固定資産減損積立金	19,604,000	
固定資産除却損失積立金	67,034,125	
3. 剰余金処分額		432,957,341
(1) 利益準備金	70,000,000	
(2) 任意積立金	332,548,125	
(リスク管理積立金)	(231,638,125)	
(情報システム機能強化等積立金)	(60,000,000)	
(農林年金対策積立金)	(40,910,000)	
(3) 出資配当金	30,409,216	
4. 次期繰越剰余金		114,496,762

- (注) 1. 出資配当は年2.0%の割合である。  
 ただし、年度内の増資及び新規加入については日割計算をする。  
 2. 次期繰越剰余金には営農指導、生活・文化改善の事業の費用に充てるための繰越額20,000,000円が含まれている。  
 3. 任意積立金における目的積立金の種類及び積立目的、積立目標額、取崩(積立)基準等は次の通りである。

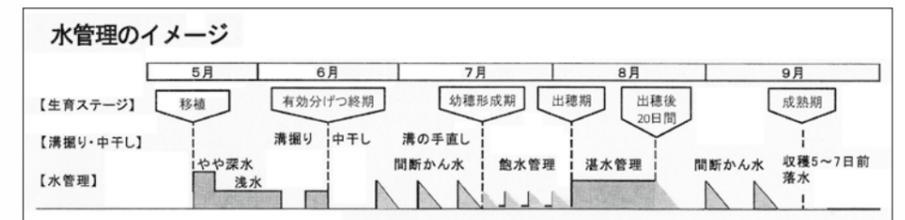
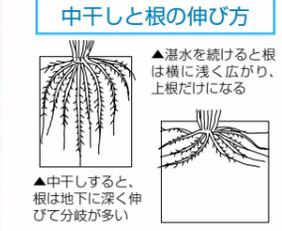
(単位:円)

種類及び積立目的	積立目標額	取り崩し基準	剰余金処分後積立残高
<b>リスク管理積立金</b> 右記のリスク事由にかかる損失発生への填補に備え、JA経営の健全性を保つ。	4,011,672,974	1. 預り金の損失が発生したとき 2. 有価証券運用のリスク負担が生じたとき 3. 貸出金等(経済未収金を含む)及び外部出資等の不良債権の償却・引当が発生したとき 4. 固定資産の償却処分及び減損が生じたとき 5. 退職給付債権にかかる外部積立の減損が生じたとき 6. 米等の農畜産物(加工品を含む)販売業務にかかる偶発的な損失が生じたとき 7. その他(事務リスク等)JA経営に与える重大な損失が発生したとき	1,511,638,125
<b>情報システム機能強化等積立金</b> 今後の情報システム機能強化及び将来のシステム構築に係るコスト負担に備える。	300,000,000	1. 次期JASTEMシステム更改等のシステム機能強化等により多額の費用が発生したとき	205,189,711
<b>税効果調整積立金</b> 税効果会計による繰延税金資産について、回収時まで剰余金処分を留保するための積立金。	155,883,000	1. 繰延税金資産の減少が生じたとき	155,883,000
<b>農林年金対策積立金</b> 農林年金制度完了時にそれ以降の特例業務負担金の一括費用処理が求められるので、その負担見込額を計画的に積み立てる。	245,460,000	1. 農林年金の制度完了(一時金の強制支給による給付完了)した年度末に負担額を取り崩す	122,730,000

## 適期中干しで品質向上！

出穂後20日間の湛水管理に向けて田植えの1ヶ月後頃までに開始しましょう。

作業	取組みのポイント	ねらい
手溝を掘る	軽い田干し後5～6mに1本掘る。 排水不良の場合は額縁排水溝も掘る。	・スムーズな入排水により 水管理効率を高める。
中干し	田植えの1ヶ月後までに開始 〈中干しの程度〉 ・水持ちの良い圃場→やや強め ・水持ちの悪い圃場→やや控め	・過剰生育の抑制 ・土壌への酸素供給による根の健全化 ・出穂後20日間の湛水後も田面の硬さを確保する。
間断かん水	間断かん水でほ場の土の硬さを管理 〈硬さの目安〉 ・幼穂形成期までに足が3cm沈む程度となるよう地固め	・湛水管理時の水持ち確保 ・収穫時のほ場の硬さ確保



## 「バケツで稲作り」



毎年恒例の「バケツで稲作り」が射水市内の各小学校で行われ、これは小学校5年生を対象として、児童たちの手で稲の苗を植えてもらってバケツの中に小さな田んぼを作り、小さな苗からお米として食べられるまでの過程を身近に体験することが出来ます。このことにより食べ物に対する関心、また命をいただくことの大切さを学び農業への理解を深めることを目的としています。

5月9日塚原小学校から始まり、10日に新湊・大門、11日に片岡、12日に堀岡、13日に金山、17日に中太閤山小学校と行われ、計339名の児童が参加しました。児童たちは当農協営農指導員の指導のもと、バケツに水を入れ、床土約7kg加えて適度な柔らかさになるまでかき混ぜ肥料を加えた後、コシヒカリの苗を植えました。

このバケツ稲は、秋の収穫に向けて、小学校敷地内で水管理・観察され、一部の小学校では夏休みに自宅へ持ち帰って観察日記をつける予定です。

## 坂本冬美

### 30周年コンサートツアー 2016

予約受付  
6月1日(水)～7月29日(金)

予約のお問い合わせはJ A いみず野各支店まで

2016  
11/23(水) ①12:30 開場 13:00 開演  
②16:30 開場 17:00 開演

会場 高周波文化ホール  
(新湊中央文化会館)

料金 全席指定 6,800円 (当日500円高)  
組合員の方・貯金または共済をご利用の方

ご優待価格 6,000円

※お客様からの座席指定はできません

※公演に関するお問い合わせは、  
高周波文化ホール TEL.0766-82-8400  
主催：(公財)射水市文化振興財団 協力：JA いみず野

## 大麦防除 産業用無人ヘリコプター 初飛行

今年JA いみず野では、国の「攻めの農業実践緊急対策事業」を活用し、無人ヘリコプター（略称ラジヘリ）2機を導入しました。

ラジヘリによる農業防除受託事業を行なうことで、年々高齢化する農業防除要員の負担軽減や生産コストの低減を目的としています。

まずはラジヘリ運転免許取得を、H28年2月～3月に、ヤンマースカイスクールから講師を招き、小杉低温倉庫内にてJA いみず野職員5名・(農)あしつきの郷より1名が、講義を受けて免許を取得しました。

実践は、H28年産大麦の全面積約556haに対して、防除申し込みがあった69haを、JA 20ha・委託業者49haで1回目4月12日(火)、2回目4月19日(火)に行いました。

現在、水稻の7月下旬防除に向けてラジヘリ安全作業の準備を進めています。これからもオペレーター全員一丸となって防除に取り組みます。



## 第35回七美ふきまつり開催

七美ふきまつり実行委員会の主催による「七美ふきまつり」が5月8日(日)JA いみず野旧七美支店格納庫において快晴のもと開催されました。

「七美ふきまつり」は地域住民の交流を図ることや、七美地区特産のふきをアピールすることを目的に毎年行われており今年で35回目です。

販売ブースでは七美産の大きな「朝どれふき」をお目当てに、両手いっぱい抱えた来場者で賑わっていました。また社会福祉法人いみず苑さんの協賛による花苗や手作りパンの販売がありました。

展示コーナーでは地元七美幼稚園園児の図画作品が展示され、来場者を楽しませました。そのほか飲食コーナーでは焼きそば、どんぶり焼き、焼き鳥などが並び活気ある呼び声が上がっていました。

ふきの収穫は5月上旬～中旬に最盛期を迎えます。柔らかくみずみずしい七美産のふきをぜひご賞味ください。





小杉小学校  
5月16日(月)

がんばりました~!



# 小学生の田植え体験学習

今年も市内の小学校にて子供たちによる学校田の田植えが行われました。

これは、毎日食卓に上るお米がどのように栽培されているのかを子供たちが米作りに直接関わることで農業の大変さと食の大切さなどを感じてもらうため毎年行われています。

5月16日(月) 大門小学校では、学校近くの学校田において、ファームふたくち作業班(澤橋孝一組合長)の皆さんの指導により、元気いっぱいの5年生が田植え体験を行いました。

田植えは、ほとんどの子供たちがはじめてということで、はじめはおそるおそる田んぼに足をいれ作業に戸惑う姿も見られましたが、しばらくすると泥の感触を確かめるようになっていました。

束になった苗を手に取り、農家の方のお手本の後をゆっくり慎重に植えていました。

田んぼの中にあるカエルやヒルを見つけた子や隣の友達と一緒に泥だらけになりながら田植えを楽しむ姿がとても印象的でした。

秋には、子供たちによる稲刈りが行われる予定です。

子供たちは自分たちが植えた苗の成長を楽しみにしています。

大門小学校  
5月16日(月)



みんなでやるぞ~!オ~~!



片口小学校  
5月19日(木)



楽しかったで~す!





# 社会に学ぶ



# 14歳の挑戦



5月9日(月)～5月13日(金)の一週間、射水市内の中学2年生の生徒たちが仕事の体験を行う『14歳の挑戦』が行われました。この『14歳の挑戦』は学校を離れて仕事やボランティアの体験を行う取り組みです。実際の社会のなかに身を置き、挨拶や言葉遣いといったマナーを学んで社会生活におけるルールの必要性を知り、働くことの喜びや苦労を実感することを目的としています。

当農協でも農産物直売所菜っちゃん太閤山店で3名、小杉育苗センターで3名、射水育苗センターで2名、カーポート大門で2名の生徒の受入れに協力させていただきました。

カーポート大門では、タイヤ交換や給油などの仕事をしてもらいました。タイヤ交換の時は、重いタイヤをがんばって運んでいました。

農産物直売所菜っちゃん太閤山店では店舗の商品の袋詰め・レジ打ち・商品の陳列・野菜の小分け・商品の配達などたくさんの仕事をしていただきました。仕事がたくさんあるので大変そうでした。

小杉育苗センター・射水育苗センターでは苗の配達・トラックの荷台に苗を積み作業・シートの張り替えをしてもらいました。育苗センターはちょうど忙しい時期なのでへとへとになったと思います。

今回の経験を通じて、多くの生徒たちが挨拶することや時間を守るといった社会のルールを守ることの重要性を実感しているようでした。今回の学んだことを今後の生活に活かしてくれることを期待します。



きゅうりの袋詰めをしています

菜っちゃん太閤山店



根切りシートを外しています

射水育苗センター



苗運びをしています

小杉育苗センター



タイヤの脱着を教えてくださいました

カーポート大門

## 利用者の皆様へ

### 金融窓口終了時間変更(試行)のご案内

当組合では、農林中央金庫の指導に基づき、全国JAバンク自主ルールに沿った事務管理態勢の強化と事務体制整備のため、金融窓口の終了時間を午後3時とする業務時間の変更を下記のとおり試行させていただきます。

営農・経済事業につきましては、現行通りといたしますが、利用者の皆様にはご理解とご協力をお願い致します。

**金融窓口営業時間：8時30分～15時 (現行：8時30分～16時)**

**試行期間：平成28年7月1日～9月30日**



## 「家庭菜園青空教室」に参加して

5月24日、戸破地区の畑の教室がありました。

日差しの強い暑い日の午後にもかかわらず、いつも元気な女性部員15人と、素敵な男性2人が熱心に、指導員の方の説明を聞きました。今年は、天候が荒れて、強風が吹いたり、雨が長く降らなかつたりと、畑の世話も大変でしたが、今、トマト・ナス・キュウリ・スイカなど、日毎にぐんぐん成長し、じゃがいもは、大きな株になり光をいっぱいあびていました。

玉ねぎは、そろそろ食べごろの大きさになって、もう少いで収穫です。暖冬の為とう立ちした玉ねぎも、やわらかくて瑞々しく、サラダやみそ汁に最高でした。大切に育てた他の新鮮野菜も、



ほどなく食卓にのぼるでしょう。トマトの大好きな子が、大きな口をあけて頬張る顔が、今から楽しみです。

(戸破支部)

## 愛菜グループ

愛菜グループは、当初助け合い組織の中の、ホットサロン事業の弁当(昼食)を作るお手伝いとして平成24年に発足しました。私達はいつも 家の光の記事を教科書としてメニューを考え、エコープ品、地元産の野菜などを使って作っています。また愛菜グループの枝豆コロッケは美味しいと人気があります。皆さん一度食べてみてください。女性部が今日まで取り組んできた、食の安全・安心の追及、自給率の向上の為愛菜グループは、頑張りたいと思います。

(愛菜グループ)



旬の食材を使った手作り弁当



畑で収穫された野菜は味付けや全体のバランスを考え工夫を凝らした一品になります。

今後の行事予定	
6月10日(金)	健康教室開級式
12日(日)	13日(月)
14日(火)	県女性協ママさん大学
15日(水)	ほっとサロン(二〇)
23日(木)	フレッシュミズ開級式
24日(金)	ほっとサロン(浅井)
29日(木)	手芸教室
30日(金)	ほっとサロン(小杉白石)
7月1日(金)	料理教室
6日(水)	料理教室
	ほっとサロン
	(海老江西町)
7日(木)	健康教室
12日(火)	ほっとサロン(下村白石)
14日(木)	日帰りトック
15日(金)	手芸教室
19日(火)	助け合い定例会
20日(水)	22日(金) 酢の講習会

1年  
(単利型)

3年  
(複利型)

新規で20万円以上

年0.2%

取扱期間

2016年

6月13日月

8月31日水



ちよリス  
スポンジ

お預け入れの方に  
いずれかプレゼント

対象となるお客様  
個人の方

対象定期貯金  
スーパー定期

ちよリス  
サマーバッグ



ちよリス  
マグネットクリップ



こんな風にはさめるよ

お預入れ金額  
20万円以上～1,000万円未満

お預入れ期間  
1年もの(単利型)・3年もの(複利型)

新規預け入れの定期貯金のみ、対象となります。

(自動継続でお預け入れの場合、継続後の利率は店頭表示金利となります。)  
※中途解約される場合は、当JA所定の中途解約利率を適用させていただきます。(手数料なし)  
※お利息は20.315%(国税15.315%・地方税5%)の分離課税となります。\*平成49年12月31日まで復興特別所得税が附加されています。  
※金利情勢等により予告なく本定期貯金のお取扱いを中止させていただく場合があります。



©ちよリス

※数に限りがあります

第34回農業機械総合大展示会

農機フェア2016

複合経営とICT農業へ

7/9・10  
[sat] [sun]

時間 7/9 AM9:00～PM5:00  
7/10 AM9:00～PM4:00

会場 テクノホール  
富山県富山市友杉1682

相談コーナー

- メーカー別展示コーナー
- 公的融資相談コーナー
- 園芸関連コーナー
- 健康相談コーナー
- 小物コーナー
- リース相談コーナー
- 営農コーナー
- 模擬店コーナー
- 肥料農業コーナー
- ふれあい写真展示コーナー
- 共済相談コーナー
- オシャレ作業着販売コーナー

イベント

両日とも 11時～AM11:20～16時～PM2:40～



7/9[sat]  
ミラクルボイス  
ユニット  
アイ☆パル



7/10[sun]  
いみず発  
元気ユニット  
IM Zip

女性限定

花のポット苗  
プレゼント!!

500  
名額

ちひっこ限定

農機に乗った写真を  
うちわにしてプレゼント!!

JAグループキャンペーン

除雪機・畦草刈機・白米保冷庫  
期間内に対象型式を契約された方に

記念品  
プレゼント



テクノホール工事による広い範囲及び駐車場が混雑する場合があります。  
富山県総合運動公園から無料シャトルバスを運行しますのでご利用ください。